

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2022年4月
第221号

もくじ

報 告	2
各部局士会活動案内・報告	3
INFORMATION	10
編集後記	11



URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : beekun.sai@gmail.com

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.222 6月号 (5月下旬～6月上旬着)	メ切 4月20日	No.225 12月号 (11月下旬～12月上旬着)	メ切 10月20日
No.223 8月号 (7月下旬～8月上旬着)	メ切 6月20日	No.226 2月号 (1月下旬～2月上旬着)	メ切 12月20日
No.224 10月号 (9月下旬～10月上旬着)	メ切 8月20日	No.227 4月号 (3月下旬～4月上旬着)	メ切 2月20日

◆報 告◆

◆緊急事態宣言発出を目前とした今

一般社団法人千葉県理学療法士会
会長 田 中 康 之

昨年10月発行の218号から歴代の会長の皆様にご寄稿いただき、これまでの県士会の積み重ね、そして今後の私たちへの思いを伝えていただきました。私たちは先達の積み重ねの上で理学療法士という仕事をさせていただき、それを後進に繋いでいく役割があります。改めて、その思いを各人で確認していただければと思います。

その「後進に繋いでいく」私たちの活動はCOVID-19により大きく変わりました。もしかしたら会員の皆様が本稿を読まれる頃には、COVID-19だけでなく様々な社会情勢から大きく世の中が変わっているかもしれません。

このような状況下における2022年度の県士会事業の在り方について1月の理事会で以下のように承認を得ましたので会員の皆様へ報告いたします。

令和4年度の会議や研修会等は、原則WEB利用による開催とさせていただきます。しかし、感染状況が好転した際にはできるだけ早く対面（集合）による事業実施への移行を視野に入れております。一方で、社会的にもこの2年間の経験から文化・スポーツなどの対面イベントが再開されている状況でもありますので、原則WEBとしながらも必要性に応じて事業の対面開催等を三役会で検討をさせていただきます。さら

にこの方向性は四半期ごとに見直し県士会員に周知することとします。

国や自治体の判断に準じるべきという意見もありますが、私たちの先には、易感染性および易重症化のリスクが高い人たちがいることを前提としていること、そして職能団体としての安易な活動が、本務の病院・施設の業務に悪影響を及ぼすことを避ける必要があること、この2点から厳しめな判断をいたしました。

一方で、COVID-19の影響で普及した様々なWEB活用はある種の革命とも言えるでしょう。以前では想像もつかなかった新たな「つながりの創造」と「学びの場の創造」をもたらしたのも事実です。

これまで対面では年に1、2度しか会えなかった人達ともWEB利用により頻繁な意見交換が可能となりました。さらに情報を得るだけの学びはWEBで十分その効果が得られると感じている人も多いのではないのでしょうか。COVID-19は「つながり」や「学びの場」に関わる制約となったのも事実ですが、これらに関する新たな可能性を考える契機となったのも事実です。例えばそれは学会をハイブリッドで開催すること等ではないのでしょうか。少し先を見据え新たな形の準備をすることも必要です。

冒頭にも書かせていただきましたが、私たちは先達の積み重ねてきたことを発展させながら後進に繋いでいく役割があります。是非会員の皆様もそのことを胸に、まだまだ難しい世情が続きますが新しいことに取り組む姿勢を後進に伝えることも私たちの使命と考え、新たな「つながり」と「学び」の広がりを作っていきましょう。



❖各部局士会活動案内・報告❖

📌学術局報告

学術局担当理事

藤井 顕・小林 好信
榎尾 英之

今年度より、新生涯学習（登録理学療法士）制度が開始されます。

登録理学療法士取得のためには、eラーニングによる座学研修のほか、実地研修の実施や症例発表会への参加が必要となります。

計画的な履修をお願いいたします。

【2022年度の研修会予定】

学術局企画運営部 部長 室井 大佑

例年、年度初めに提示している生涯学習研修会の年間予定は、現時点ではありません。まずは、新制度である、登録理学療法士の取得に重点をおいているためです。対象の県士会員の皆様は計画的に取得できるように情報をご確認ください。また、すでに登録理学療法士を取得済みである県士会員も多数いらっしゃるから、2022年度後期（10月以降）には更新のための研修会（これまでの生涯学習研修会と同様の研修）を計画しています。県士会員の皆様には年度途中で研修会のご案内をすることとなりますが、学術局ホームページをご確認いただければ幸いです。また、情報をよりスムーズにお伝えするためにメルマガ等を活用していきたいと思っております。

【研究支援委員会より】

研究支援委員会 委員長 高杉 潤

研究支援委員会は、「千葉県士会員の学術推進を図るため、研究の支援を行うこと」を目的として結成された部門です。昨年度は、「PTの研究力を高める研究支援セミナー」と題して、合計10回のオンラインセミナーを開催しました。内容としては、「研究方法」「文献レビュー」「抄録の書き方」「プレゼンテーション」「論文作成」などで、どれも盛会に終えることができました。

今年度も、県士会員の皆様の研究活動に役立つよう

なセミナーや、普段なかなか聞けないようなことを聞くことができる座談会を企画していきます。また、新生涯学習制度の後期研修に含まれる「症例検討会」の準備も合同で進めております。県士会のホームページ等を適宜ご確認いただき、ぜひご参加ください。

📌職能局報告

ワークライフバランス部便り♪

—研修会「LGBT入門」報告—

WLB部 江澤 かおり

1月19日（土）みらいかぞく代表、亀田総合病院リハビリテーション科医師、小川尋海先生を講師に迎えてLGBT入門、「ジェンダー」について学ぶ研修会を実施しました。COVID-19拡大の影響でWebでの開催となりましたが、参加者の皆様の研修後アンケートでは「気が付いていないだけで、自分の発言や振る舞いを気を付けようと思えました」「医療従事者として配慮すべきこと、また組織としてすすめなければならないことなど考える良い機会になりました」など回答者全員が「満足」と評価の高い研修会となりました。以下にその内容の一部をご紹介します。

LGBTとはL：レズビアン（女性同性愛者）G：ゲイ（男性同性愛者）B：バイセクシャル（両性愛者）T：トランスジェンダー（性自認が出生時とは異なる）の頭文字を合わせた言葉です。Q：クイア、性別不明（決められない）。を含めLGBTQと言われることもあります。性的マイノリティー全般を指す言葉です。マイノリティーと言っても、それ程希少ではなく、日本でも8～10%がLGBTと言われています。私たちが気づいていないだけで、普段日常でお会いしているのではないかと思います。さて、自分の性別をどのように認識しているかは性自認。恋愛の感情がどの性別に向くかは性的指向。異性を好きか、同性が好きか、両方好き、性別で決めたくない、特定のだれかを好きでないなど様々です。性的指向と性自認この2つを組み合わせSexual Orientation and Gender Identityの頭文字を取って「SOGI」（ソジ）という言葉がLGBTに代わって使用することも多くなっています。あえて性的マイノリティーを強調せず、誰もがそれぞれの性自認・性的指向を持っている。多様性を認め、自分とは違う指向や性別を差別せず、全員を認め合う言葉です。

さらに、講義では、オフィシャル髭男dismの「pretender」のMVを題材に、その映像と歌詞から表現されている内容を読み解いてみました。撮影されているのは台湾の西門。ジェンダーレスのトイレがあったり、レインボーカラーの横断歩道があったり、ジェンダーフリーの町として有名です。さて、映像に出てくる男女の恋愛関係は？「僕にとって君は何？」気になる方はぜひ見直してください。「もっと違う価値観で愛を伝えられたらいいな」と。

続いて講義では、医療現場でのジェンダーの方への対応のしかたなどを解説していただきました。私たちがセクシャルマイノリティーの方々を知らず知らずのうちに傷つけないようにするためには基本的な知識が必要です。さらにALLY*（アライ）理解者であることを伝えることも大切です。多様性の象徴であるレインボーカラーのグッズはALLYの表示です。SOGIハラ防止のために理解を深め、ALLYを増やしていきましょう。

*アライはAlliance：同盟者・協力者の意味

第28回千葉県理学療法士学会関連報告①

広報局長 纈 纈 琢 磨

第28回千葉県理学療法士学会

- テーマ：サステナブルな理学療法士の価値の創造
- 会 期：2023年3月5日（日）
- 学会長：松田 徹（亀田リハビリテーション病院）
準備委員長：小林好信（千葉医療福祉専門学校）
事務局長：奥村龍之（千葉県理学療法士会事務局）
学術局長：山岡郁子（藤リハビリテーション学院）
広報局長：纈纈琢磨（小見川あすなろクリニック）
運営局長：桑江 豊（城西国際大学福祉総合学部理学療法学科）
相談役：竹内弥彦（城西国際大学福祉総合学部理学療法学科）
- 開催方法：城西国際大東金キャンパス（対面）とオンラインでのハイブリッド開催（詳細未定）
- 一般演題募集開始：未定



●学会長挨拶

第28回千葉県理学療法士学会を開催します！

学会長 松田 徹
(亀田リハビリテーション病院)



現在、世界は国連が掲げた「持続可能な開発課題（Sustainable Development Goals, SDGs）」を達成し、皆が取り残されない多様性と包摂性のある未来を目指しています。SDGsは17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されています。

SDGsの開発目標のうち「3すべての人に健康と福祉を」は、ヘルスケアの専門家である理学療法士が直接的に関与する目標といえます。また「11住み続けられるまちづくりを」は、2025年に完成を目指す地域包括ケアシステムの構築そのものと捉えることもできます。さらに「9産業と技術革新の基盤をつくろう」では「Society5.0の推進」を目指しており、AI・ロボット等のテクノロジーの発展やCOVID-19の世界的な流行に伴いリハビリテーション業界でもICT支援技術が注目されています。リアルだけではなくオンラインでのリハビリテーションの実践など地域での社会実装も進みつつあります。

以上のようにSDGsの達成は我々理学療法士にとっても親和性の高い課題であり、またその達成に向けた取り組みが、我々理学療法士の存在価値をより高めていくものと考えます。

そこで本学会のテーマは「サステナブルな理学療法士の価値の創造」としました。現代の環境は複雑さと多様性を増していると共に、感染や災害等で将来の予測が困難な状況にあります。このような中、将来にわたり理学療法士の価値を持続的に創造するために2つの視点が考えられます。一つは既存の理学療法士の価

値を進化（深化）させる視点、もう一つはこれまでにない新たな理学療法士の価値を創る視点です。いずれにおいても理学療法士の価値を持続的に創造できる人材の育成が重要な課題です。

前者の視点としては、理学療法の対象となる疾患構造の変化への対応（高齢化進展により多疾患併存患者の増加や、呼吸・循環器疾患・がん患者の増加など）や科学的根拠に基づいた理学療法の提供が重要と考えます。一方、後者の視点として①リハビリテーション業界でのICT支援技術の活用、②地域包括ケアシステム推進による病院完結型医療から地域完結型医療へのシフトに伴う理学療法士の活躍の場の拡大、③理学療法士の公的保険外での活躍機会の増加などが挙げられます。

本学会では、持続可能な理学療法士の価値の創造につながる様々な実践を共有し議論や情報交換をすることで皆さまの明日からの臨床・教育・研究・管理を活性化する一助になればと考えています。そして、皆さまにとっての理学療法士としての存在意義である“パーパス”の発見につなげられる機会にしていきたいです。

本学会は、2023年3月5日（日）に城西国際大学東金キャンパスでの対面形式とオンラインでのハイブリッド開催を予定しています。COVID-19の流行後、オンラインでの研修会・学会に参加経験のある方は、知識の蓄積を目的とした場合、オンライン開催の便利さを実感されていることでしょうか。しかし演題発表時のドキドキ感は感じにくく、興味がある分野を見つける偶発的な出会いもWebでは起こりにくいものです。対面開催は理学療法士としてのサステナブルな成長につながる人との出会いやご縁を見つける場でもあります。

ハイブリッド開催は千葉県理学療法士会としても初めての取り組みであり、持続可能な学会運営という点でも大きなチャレンジとなります。新しい時代の幕開けとなるような学会を一緒に創ってみませんか。学会運営スタッフ一同、皆さまのご参加・ご発表を心よりお待ちしております。



☑️ハラスメント相談対応者研修会報告

管理者ネットワーク推進委員会

委員長 小川 明 宏

ハラスメント対策委員会

委員長 山岡 郁 子

1月30日（日）にハラスメント相談に対応される方に向けてロールプレイを取り入れたオンライン研修会を21世紀職業財団の清水知子氏を迎えて開催しました。同僚から相談された場合など、具体的で実践的な対応を学ぶ内容でした。以下に質疑応答の一部と、参加者からのご意見を参考までに紹介させていただきます。当士会では、皆様が笑顔で働けるような職場作りの支援として、入門的なハラスメント防止研修会や、相談に対応する方への研修会等行って参りました。今後は、ペイシエントハラスメントや、高齢者施設や訪問事業所のように小規模かつ密室での業務となってしまう場合等のハラスメント防止等に役立つような研修会も企画できたらと考えています。

(研修会 Q&A) Q 1 パワハラ行為者に事実確認をする時に、行為者にそれ自体もハラスメントと言われることや、研修を企画しても行為者自身が参加しない場合にはどのように対応したらよいでしょうか？

(回答) 行為者にヒアリングすることは法律に義務化されている対応なので、冷静に対応していただく事が重要です。行為者にヒアリングするときは、相談があった時からできるだけ早く事実関係を確認するとともに、呼出しに応じない場合には内容を伝えずに呼出す方法もあります。なお、行為者をパワハラと決めつけない事も大切です。また、行為者が言動の確認から誰に対しての発言かを思い出し、相談者に報復することがないように組織として対応しなければいけません。

Q 2 患者様がスタッフからモラハラ発言を受けたと言われた場合、どのように対応したらよいでしょうか。

(回答) まずは患者様からの訴えを聞き取る事になると思います。該当スタッフに話を聞く時にはその言動に至った背景を聞くために、スタッフを労いつつ相談を聞くというスタンスでヒアリングを行う事も必要です。つまり、困っている人がいるというスタ

ンスで聞くといいと思います。

犯人と決めつけるという事ではなく、「困りごと」を解決するというような形で対応できることが望ましいです。

〈参加者のご意見〉 貴重な研修を企画していただきありがとうございました。このような研修が管理者養成の必須事項としてポイント化されると多くの人に勉強してもらえenと思います。／以前受けた研修会をきっかけに、職場に働きかけ、ハラスメント防止のための体制づくりを進めています。よりよい体制を構築できるよう今回の研修内容も活かしていけたらと思います。体調を配慮し、受講させていただきありがとうございました。／本日はありがとうございました。ハラスメント相談対応研修となると、管理者側のみが受けるイメージがありますが、管理者以外も興味を持ってもらえる取組みも必要と感じます。／相談者がどこに、どう相談すればいいのか、どう対処してもらえるのかの流れやポイント、患者様・利用者様の心理、また管理者も逆ハラスメントへの不安や聞き取る際のストレスなどを抱えていることなど、相互理解も深まるかと思っています。今後とも宜しく願いいたします。

☒災害対策研修報告

災害対策委員長 児玉美香

2022年1月23日（日）災害対策研修会をリモート開催しました。3本の講演は千葉県災害リハビリテーション支援協会（千葉Japan Disaster Rehabilitation Assistance Team 以下、千葉JRAT）について：後藤達也氏、本部活動体験報告：児玉美香、現地活動チーム体験報告：八角順平氏です。参加者は13名で、質疑応答では災害支援に意欲のある会員から、千葉JRATに参加する方法などの質問がありました。現状では医師を含むチーム活動となるため施設単位での協力要請となります。

今回の研修のアンケート結果を以下に報告します。

〈研修会参加者年代〉

20代2名・30代4名・40代5名・50代2名

〈研修の満足度〉

大変満足8名・満足4名・普通1名

〈講演の理解度〉

	大変よく理解できた	理解できた
千葉JRAT	4名	9名
本部活動	5名	8名
現地活動	5名	8名

〈参加者の感想〉

- ・JRATの概要、活動内容が大変よく理解できました。
- ・漠然としていた支援内容が実際の体験談を聞いたことで、イメージをすることができた。
- ・これからの進め方を期待します。
- ・生活不活発病予防は運動指導だけではないという話が参考になりました。
- ・災害リハという言葉は地域リハに並ぶなかなか定義的なものとして固まった形のないものと思います。自分の中で考える災害リハの活動や形に大変ヒントになる研修でした。ありがとうございました。
- ・次はまた具体的にと仰っておられましたので、また期待しています。
- ・JRATについての基礎的なことや実際の活動を伺え、必要性を再認識できました。ありがとうございました。

個人単位での参加が現状では難しいことが残念です。しかし、JRATの人材育成の部分が平時のリハ業務に生かせると思えますので、今後も参加させていただきたいと思います。

〈今後知りたいことや希望する研修〉

- ・災害別の支援内容
- ・本部演習
- ・現地派遣演習
- ・リハビリテーショントリアージ
- ・行政や他職種との連携
- ・大規模災害が起きた際の課題と、行える事、県士会として行いたい事
- ・ボランティアと公的派遣の違い
- ・個人での活動参加
- ・災害時のネットワークと連携方法、平時の取り組み
- ・ロジスティックスチーム養成
- ・避難所支援での具体例、必要な知識、参加型研修（ダンボールベッド組立や用具の工夫など）
- ・君津のPOS連での平時の災害研修

- ・被災地域のリハ職・施設に求めること（情報・人材・事前準備など）

今回はご要望にお応えして参加型の研修を企画いたします。災害対策は有事に駆けつけるだけではありません。平時にできていないことは有事にもできないものです。理学療法士がすべきことを考えましょう。

あなたの街が被災したら、あなたはどう動きますか？

📌 ブロック活動報告

●2021年度市原ブロック活動を振り返って

市原ブロック広報担当 **高山直紀**
ケアーズ訪問看護リハビリステーション市原北

市原市単独で構成される市原ブロックは、当初から顔が見える関係づくりを一つの柱として、活動を行って参りました。2021年度の活動は主にオンラインとなりましたが1年間の活動を振り返った感想を報告させていただきます。

大きな取り組みとしては、6月にブロック内施設におけるZoom交流会を開催しました。交流会では、主にコロナ関連の情報交換を行い、有意義な意見交換ができました。また、当ブロック内で講師・司会を務めた新人教育プログラムも2021年度は、4回開催しました。予想に反し、市原ブロック外からも多くのご参加をいただき、オンライン開催にあたり、慣れない準備等に不安ありましたが、無事に開催することができました。また、新たな取り組みとしては、市原市地域リハビリテーション広域支援センターと協力し、リハビリテーション専門職としての研修会を開始しました。10月に行われた第1回目は、コロナ禍における地域連携について、症例発表を通して意見交換を行いました。そして、年度末には、市原地域における所属長会議を実施し、急性期、回復期、生活期、そして、養成校の先生方を交え、新生涯学習制度や当ブロックにおける会員特性について理解を深めました。

このようなコロナ禍におけるオンライン活動では、ブロックメンバーも不慣れな点も多く、不安や疲労を隠せない状況もみられました。しかし一方で、所属長会議や交流会、そして研修会を通して、『元気が出た』『皆で頑張る』『乗り切る』という前向きな意見も多く

聞かれ、ブロックとしての繋がり強化に一步前進した印象も感じることができました。来年度も、オンラインでの活動が多くなるかもしれませんが、更に連携を強化し、有意義な活動に繋がるように頑張りたいと考えております。

最後に改めてとなりますが、市原ブロックメーリングリストについて案内させていただきます。市原ブロックで企画した交流会や研修会等を、メールにて発信させていただいております。市原ブロック内の施設に勤務されている会員の方で、登録が済んでいない方は、ichihara.pt.block@gmail.comまで、お名前・勤務先・会員番号・メールアドレス・電話番号を記入の上、メールをいただければ幸いです。

こちらのQRコードからの
申込も可能です。



📌 一般社団法人千葉県理学療法士会

令和3年度 第9回理事会 議事録

日時：令和4年1月14日（金）19時00分～20時05分

場所：WEB会議

出席者：〈理事〉田中康之、薄直宏、竹内弥彦
高橋聡、児玉美香、藤井顕
松田徹、小川明宏、中村亮太
外口徳章、藤川孝彦、西田裕介
山岡郁子、松川基宏、桑江豊
草木雄二、小林好信、渡辺政基
高杉潤、三和真人

〈監事〉宮前信彦、西山晴彦、吉田久雄

〈委員長〉内村元

〈委任状〉榎尾英之、森田悠介

〈事務局〉萩原千春、奥村龍之

〈書記〉菊池俊明

1 報告事項

1) 会長報告

12月10日（前理事会終了後）から本日までの行動概要が報告された。

日本理学療法士協会の入会率低下についても併せて報告された。

2) 三役局長会報告

議案調整等について報告された。

3) 令和4年度 県士会事業の運営について

会議を除く研修会等の催し及び会議については、一律対面（集合）への移行は難しいと考え、WEB開催を原則としつつ幅を持たせた判断とする。但し、感染状況が好転した状況で事業の対面（集合）開催を検討する場合、当該事業計画・予算作成は、対面（集合）による開催を前提として立案することが報告された。

4) メールアドレスの収集・運用について

千葉県理学療法士会メールマガジンの発行を目的にメールアドレスの収集を行い、事務局より最大2回/月配信する運用であることが報告された。

5) ブロック会計の試験運用について

ブロック会計の運用について、東葛南部ブロックをモデルに1～3月の期間で試験運用することが報告された。

6) 新プロ履修状況について

千葉県理学療法士会における会員の新プロ修了率が84.0%であることが報告された。

（2021年12月31日現在の協会データ抜粋）

7) 2022年度新人歓迎セミナーについて

2022年5月15日（日）にZoomにて開催することが報告された。

8) WLB部研修会について

テーマ「LGBT入門：医療従事者に知っておいて欲しいこと」

日時は2022年1月29日（土）13：30～15：00、Zoomでのウェブ形式で行うことが報告された。

9) 保健所支援業務の人材バンク：IHEATについて

保健所支援業務のIHEATの登録について紹介された。

10) 地域支援本部からブロック会員への周知事項について

ブロックの要望により、1月の研修会案内3件を500文字以内とし、ライン1通として送れるようにしたことが報告された。

11) 定款・規定の改定進捗状況について

改訂に関する進捗状況について報告された。

2 審議事項

1) 第28回千葉県理学療法士学会開催方式について

会期は2023年3月5日（日）、城西国際大学東金キャンパス（対面）とオンラインでのハイブリッド開催とすることが承認された。

2) 郵送費の補正予算の申請について（WLB部）

WLB部のストレス調査の実施にあたり会員個人への郵送を行う予定であるが、郵送費が不足しているため、補正予算として320,000円を計上することが承認された。

3) 改訂・新規定の承認について

文書保管規程、公印規程、慶弔見舞金規程、求人広告規程について承認された。

次回、第10回理事会

日 時：令和4年2月15日（火）19時00分～

会 場：WEB会議

令和3年度 第10回理事会 議事録

日 時：令和4年2月15日（火）19時00分～20時25分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉 田中康之、薄 直宏、竹内弥彦
高橋 聡、児玉美香、藤井 顕
松田 徹、小川明宏、中村亮太
外口徳章、藤川孝彦、西田裕介
松川基宏、高杉 潤、草木雄二
小林好信、三和真人、森田悠介

〈監 事〉 宮前信彦、西山晴彦、吉田久雄

〈委員長〉 内村 元

〈委任状〉 山岡郁子、桑江 豊、渡辺政基
榎尾英之

〈事務局〉 萩原千春、奥村龍之

〈書 記〉 菊池俊明

1 報告事項

1) 会長報告

1月14日（前理事会終了後）から本日までの行動概要が報告された。

2) 三役局長会報告

2月10日開催され、議案調整等について報告された。千葉県士会の協会代議員定数不足分については、三役で相談の上追加募集の予定。ブロック関連

について（情報共有や文書管理など）、近日中に三役で会議予定。また来年度、会員と「しゃべろう会」を企画中であることが報告された。

なお、定款改正については、総会議案となることから総会に向けて検討していくことが報告され、併せて監事からの意見を共有した。

3) 事務局報告

会員向け郵送物に関する進捗の共有及び東葛南ブロックにおけるブロック会計のフローの修正版について報告された。

4) 令和4年度事業計画・予算案作成スケジュールについて

事業計画及び予算案の提出締切は3月25日、理事会での検討は4月8日を予定していることが報告された。

5) 令和4年度理事会スケジュールについて

前年度と同様に第2金曜日に開催する予定であることが報告された。8月は未開催、9月は関東甲信越ブロック学会の兼ね合いで第2木曜開催。

6) ブロック職能関連アンケート結果について

各ブロックに対して職能関連のニーズの調査を行い、詳細については次回の理事会にて報告することが共有された。

7) 臨床実習指導者講習会の進捗報告

今年度の開催状況について報告された。千葉県では現時点で800名程度の養成が完了している。

8) 第27回千葉県理学療法士学会の準備状況について

プログラム及びタイムテーブルについて報告された。なお、演題数は103演題登録されたことも併せて報告された。

9) 第28回千葉県理学療法士学会の準備状況について

学会の形式及び運営会社について検討していることが報告された。なお、今後の学会運営の在り方（予算）について、理事を対象としたアンケートを予定していることが共有された。

10) 災害対策研修報告

1月23日に行った災害対策研修会は参加者が13名であったこと、及びアンケート結果について報告された。

11) 次年度BCP研修会について

次年度にBCP研修会を開催予定であることが報告された。

12) 令和3年永年勤続表彰について

令和3年度永年勤続者表彰候補者調査について行うことが報告された。

2 審議事項

1) 講師・世話人の認定申請について

2名の新規申請者の認定を審議し、承認された。

2) 役員選挙規定の変更について

選挙規定第3章第6条選挙人の規定の変更について検討された。今後は実務について確認し、再検討する予定。

【参考】

第3章 選挙の告示および選挙人・被選挙人
(選挙の告示)

第4条 選挙管理委員会は、投票受付開始60日以前に選挙すべき役員及び代議員のその定員を告示し、立候補を受け付けなければならない。立候補締め切りは、投票受付開始30日以前とする（郵送による立候補締め切りは締切当日着までとする）。

(被選挙人)

第5条 被選挙人は選挙告示日までに正会員として登録されている者とする。

(選挙人)

第6条 選挙人は、投票用紙が同封される士会ニュース発送事務完了までに正会員として登録されている者とする。

次回、第11回理事会

日 時：令和4年3月11日（金）19時00分～

会 場：WEB会議

以 上



❖ INFORMATION ❖

メディカルオンライン 県士会学術誌無料閲覧サービス 2022年度版アカウントのお知らせ

学術誌編集委員会 副委員長 大谷 拓哉

医学文献検索サービス「メディカルオンライン (<http://www.medicalonline.jp/>)」の県士会学術誌無料閲覧サービス 2022年度版アカウントをお知らせいたします。千葉県理学療法士会員は下記アカウントを用いてメディカルオンラインにログインすることにより、県士会学術誌「理学療法の科学と研究」を無料で全文閲覧することができます。ぜひご活用ください。

〈千葉県理学療法士会員 専用アカウント (2022年度版)〉

ID : 1100007210-07

パスワード : 6ipztmp2

*アカウントは現時点から2023年3月末日まで有効です。2023年4月以降のアカウントについては改めて本ニュース上でお知らせします。

所属先が変わられた方は会員情報変更をお願いします

選挙管理委員会 内村 元

2022年10月から2023年1月にかけて千葉県士会の第7回役員選挙と第4回代議員選挙が予定されています。

立候補の資格は選挙の公示日(2022年10月1日予定)に千葉県士会会員として千葉県士会事務局で登録が確認されている事、会費が納入されていることが必要となります。

新年度になりまして所属先が変わられる会員の方は会員情報の更新をお願いします。

会員登録内容が正しくありませんと理事・代議員に立候補されましても立候補の受付ができません。

異動届など会員登録内容の変更は日本理学療法士協会のマイページから申請となります。千葉県士会に連絡が来るまでに日にちがかかることがありますので、早めの変更をお願いします。



❖ 編集後記 ❖

● 繋ぐ

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

少しづつ寒さが緩み始めてきましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さまいつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、今回もニュースの冒頭より田中会長の巻頭言の中で、『私たちは先達の積み重ねの上で理学療法士という仕事をさせていただき、それを後進に繋いでいく役割があります』と有りましたが、県士会ニュース218号より3号続いた歴代の会長経験者の先生方の思いを読み、編集後記にも私なりの感想も書かせていた

だいておりましたが、まさに現在、管理者等になっている私達の役割は「今後の理学療法士の為に、これからの理学療法士の為にどう働くか」が必要な視点になってくるかと思えます。

県士会ニュース218号～220号の巻頭言を読み、千葉県理学療法士会の創成期から現在に至るまでの諸先輩方の努力を知りました。また、私達ニュース編集部も1984年の1月に第1号が発行され今年で38年になります。歴代の部長のもと続けてきた県士会の広報誌としての役割を継続し、より会員の皆さまに県士会の活動を分かりやすくお伝えできるよう努め、次の世代へとバトンを渡せるように頑張りたいと思います。

最後になりますが、つたない文章を最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

今回のニュース原稿の締め切りは
令和4年4月20日です！

～ハラスメントのない環境のために～



本会はハラスメント防止対策を推進していきます
地位乱用・IT弱者いじめ・価値観の押付・なんでもハラスメント・熱視線・イクメン防止・妊娠の順位付け・性的少数者への偏見・相談放置…
すべてNGです！



千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ
千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ
<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈 琢磨
t.kouketsu@asunargroup.jp

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之
発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局
〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1
千葉中央ツインビル1号館1005号室
Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066
(電話対応の詳細はHP参照)
Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
編集部 部長 纈 琢磨
医療法人社団 君津あすなろ会
小見川あすなろクリニック
〒289-0314 千葉県香取市野田280-1
Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684
Mail t.kouketsu@asunargroup.jp